

採用難時代と労働供給制約社会

新卒採用は企業にとって厳しい状況

就職活動は、学生にとって人生の大きな節目であり、企業にとっては未来を託す人材との出会いの場である。『就職白書』は、これまでこうした学生と企業のマッチングの在り方を探求してきた。その一環として、新卒学生の就職活動および企業の新卒採用活動の実態を調査し、現状の把握に努めている。

近年、新卒採用の現場は大きな変化に直面している。企業の採用環境は厳しさを増し、従来の手法だけでは採用戦略の実現は難しくなっている。本書では最新の調査データを基に、就職・採用の現状を明らかにし、その課題と展望を探ることとする。

新卒採用の難化の背景には、構造的な人口減少、すなわち労働力人口の減少がある。2023年にリクルートワークス研究所が『未来予測2040 労働供給制約社会がやってくる』というレポートにおいて「2040年に1,100万人の労働力が不足する」と予測しているが、この国は現時点ですですに人手不足と採用難の時代に突入している。ただ人を集めるだけでなく、定着し活躍できる環境を整えることこそが、これまで以上に重要となっている。企業は、従来の考えにとらわれずに新たな視点を獲得し、柔軟なアプローチを模索するべきである。

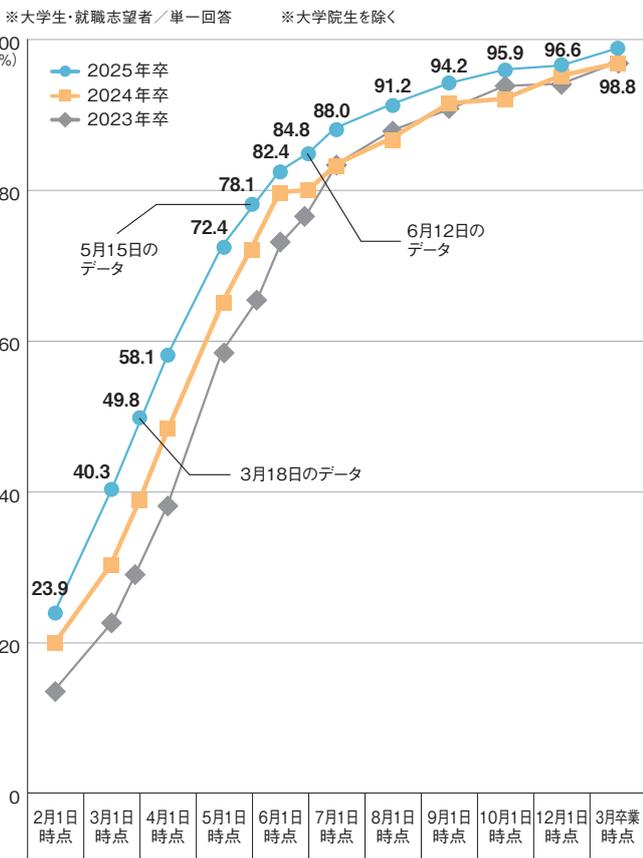
『就職白書』は、これまでこうした学生と企業のマッチングの在り方を探求してきた。その一環として、新卒学生の就職活動および企業の新卒採用活動の実態を調査し、現状の把握に努めている。

そのような状況を念頭に置いて2025年卒の学生の就職活動と企業の採用活動環境について概観しよう。まず、就職内定率は、前年よりも高水準で推移しており、2024年3月1日時点ですですに約4割の学生が内定を取得。早期化の傾向が強まっている(グラフ①)。大卒求人倍率も、昨年から上昇している(グラフ②)。従業員規模別では、300人未満企業・300~999人企業で上昇、1,000~4,999人企業は変動なし、5,000人以上企業では低下。特に中小企業では、求人総数が増える一方で、民間企業就職希望者数の方は減

学生

就職内定率は全期間を通じて前年より高い水準で推移

① 就職内定率の推移

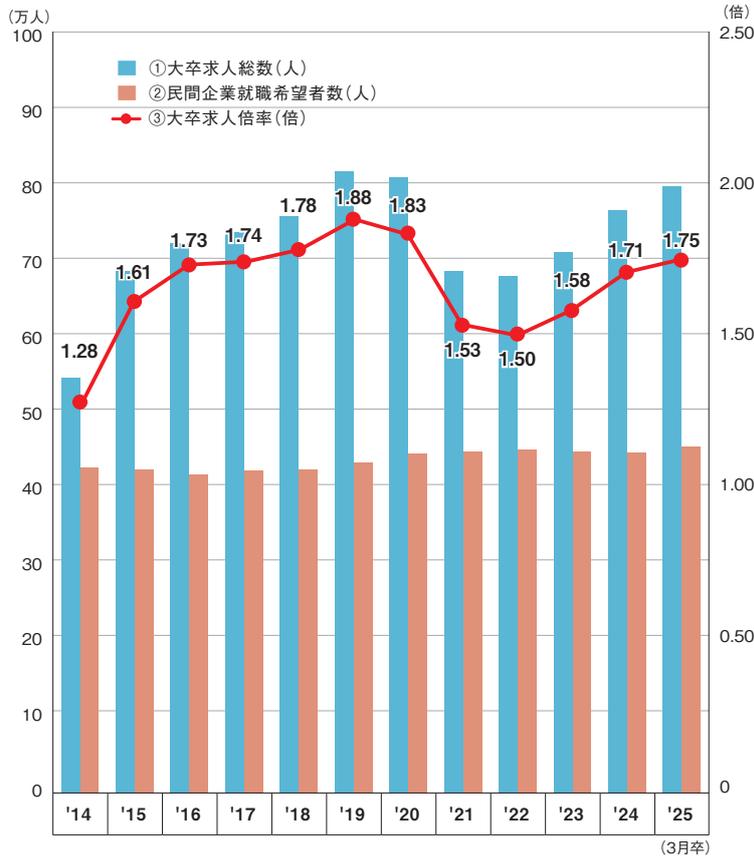


企業

大卒求人倍率は1.75倍。さらに高まる企業の採用意欲

学生

② 大卒求人倍率・求人総数・民間企業就職希望者数





少しており、採用難の傾向が一層強くなっていることが分かる。

企業は早い時期から内定を出し、できるだけ早期に優秀な人材を獲得しようと競い合う様相を呈しており、その結果、約6割の企業が新卒採用数の目標を達成できていない現状がある(グラフ③)。

AIは労働力不足をどの程度補うか

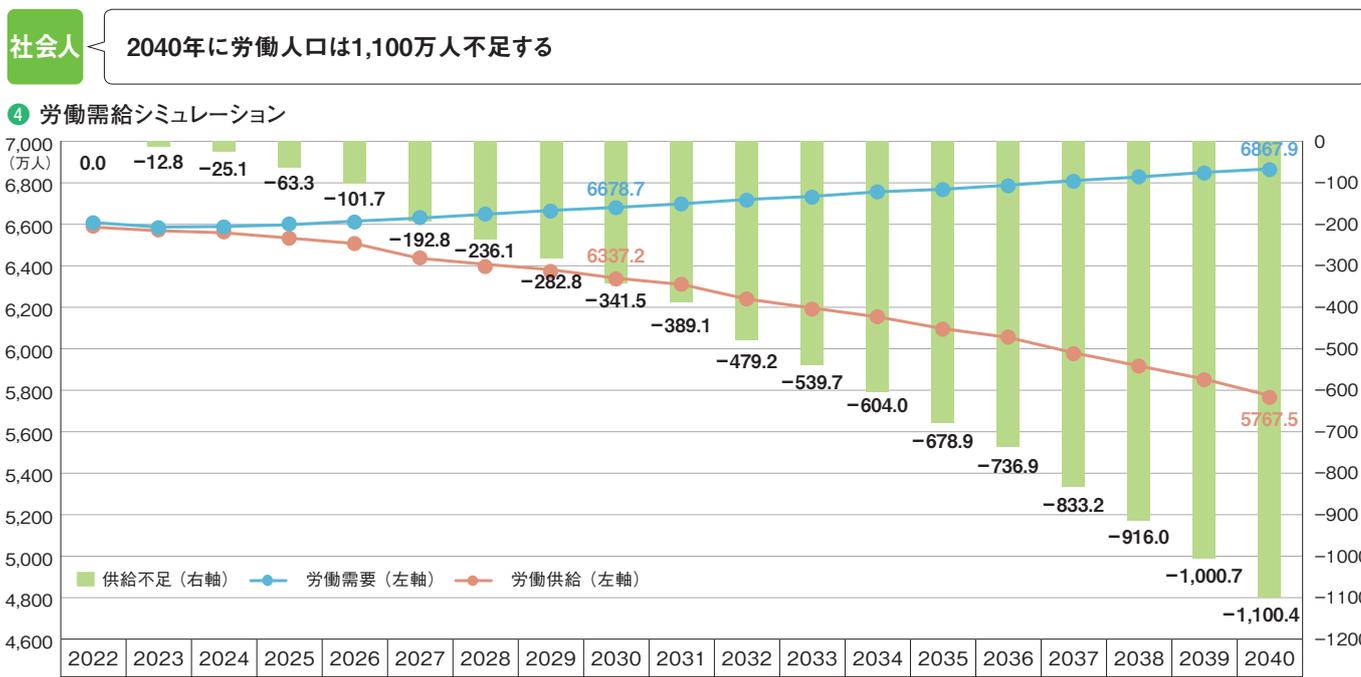
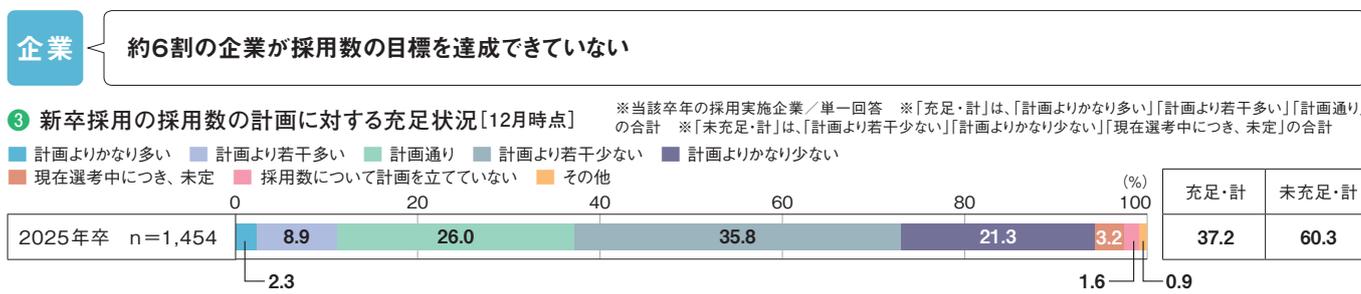
新卒の学生に限らず、労働力人口全体でも少子高齢化による労働力不足が深刻となっている。前述のように少子高齢化の深刻化による現役人口の急減に伴い、労働人口は、需要予測に対して2030年に約341万人、2040年に約1,100万人不足する見込みだ(グラフ④)。

AIによる労働力の代替や補完について、大和総研の調査では、「日本の約40%の就業者が仕事の半分以上を自動化できる」と推計し、同時に「AIによって代替あるいはAIとの

協働が可能な部分はそれぞれ20%前後」とされている(※1)。一方、アメリカでは、1980年以降、PCやインターネットの普及によって、約350万人の職が失われたのと同時に、IT関連の新しい職種が創出されたことにより、結果として、約1,580万人の新たな雇用が生まれたとされている(※2)。歴史的には技術革新には労働需要を増加させる側面もあったということになる。かつてのIT革命がそうだったように、AIの進化によって仕事の在り方は大きく変わる一方で、雇用そのものは減るどころか、むしろ増加する可能性も考えられる。

日々恐るべき速さで進化を遂げるAIの雇用需要の代替の見立ては非常に難しいところではあるが、労働力不足、採用難という状況がさらに深刻化する可能性もある中で、企業は人材とどう向き合っていくべきか、とりわけ、未来を担う若年層の人材をいかに生かすかという課題は、今後も引き続き重要な論点であり続けるだろう。

※1: 大和総研経済調査部 主任研究員新田亮之氏「生成AIが日本の労働市場に与える影響」2023年, 2004年
※2: McKinsey Global Institute「JOBS LOST, JOBS GAINED:WORKFORCE TRANSITIONS IN A TIME OF AUTOMATION」2017年



出典: リクルートワークス研究所「Works Report 2023 未来予測2040 労働供給制約社会がやってくる」